

26組が「知って、肝炎プロジェクト」の大使・スペシャルサポーターに就任 「知って、肝炎プロジェクトミーティング2016」開催 ～7月28日世界肝炎デーに向けテーマソング『笑顔の明日』を初公開～

厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動事業の「知って、肝炎プロジェクト」（所在地：東京都中央区銀座7-13-20 特別参与：杉 良太郎）は、2016年7月26日（火）に「知って、肝炎プロジェクトミーティング2016」を開催いたしました。

肝炎総合対策推進国民運動事業「知って、肝炎プロジェクト」は、2012年より、肝炎に関する知識、肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎の正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくことを目的として実施している活動です。杉良太郎氏が厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動 特別参与を就任後、趣旨に賛同してくださった方々とともに、活動を行ってまいりました。

本イベントでは、塩崎恭久厚生労働大臣の挨拶から開会し、「『知って、肝炎プロジェクト』は、早期検査を進めるためのプロジェクトとして5年間活動させて頂いております。今後も特別参与や大使、スペシャルサポーターの皆様と一緒に肝炎ウイルス検査の必要性を伝えていきたいと思っております。」と述べました。続いて、当プロジェクトの特別参与を務める杉良太郎氏に再任辞令が交付されました。辞令交付を受けて、杉氏は「今年は5年目の節目の年。今年はこれまでにはない方法・新しいプログラムを作り上げました。これで大きく一歩踏み出せるのではないかと確信しております！」とご挨拶を頂きました。

そして、総勢22名の「知って肝炎プロジェクト」実行委員会の大使、スペシャルサポーターの方々が登壇し、厚生労働省健康局長より任命書の交付が行われました。スペシャルサポーター任命書を交付された伍代夏子氏は、「少しずつ肝炎という病気に関心を持って頂いているように感じております。これからも早期発見の重要性を訴えて、啓発活動にいそしみたいと思っております。」と任命への強い決意を語りました。

さらに、7月28日（木）の世界肝炎デーに向けて、小室哲哉氏が手掛けた当プロジェクトのテーマソング「笑顔の明日（えがおのあした）」が初お披露目されました。制作をされた小室氏は、「皆さん音楽がお好きなんだということがこの曲を通じて改めてわかりました。音楽家として参加させていただいているので、音楽の力を信じたいと思っております。」とテーマソングに対する期待をお話されました。

今年で5年目を迎える当プロジェクトは、今後も肝炎の知識や検査の必要性を知ってもらうことを目指し、啓発活動を行ってまいります。



■厚生労働省 塩崎恭久大臣

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれていて、肝炎にかかっている自分ではなかなか分からないです。そのため、自分がかかっているかどうかを、早期検査で発見することがなによりも重要でございます。「知って、肝炎プロジェクト」は早期検査を進めるために5年間続けております。25組のスペシャルサポーターの皆様には引き続き肝炎検査の重要性を各都道府県の知事へ働きかけるなどして、全国の皆様を知って頂けるよう活動をお願いしたいと思っております。皆様が元気に暮らしていけるようにしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願い申し上げます。



■厚生労働省 肝炎総合対策 推進国民運動 杉良太郎特別参与

節目の5年目に突入し、今までの成果を検証して、今年はグレードアップした内容、集中型の啓蒙活動をし、大きく革新したいと思っている。自ら動いてくださる多くの大使、スペシャルサポーターのおかげでここまでやってこられた。本来であれば、自分の健康は自分で守らなければいけないが、自分や家族が肝炎で苦しんでからでないのが付けないもの。でも、このプロジェクトがきっかけとなれば嬉しい。今後も心掛けて、心を示して手作りの広報をしていきたい。



■厚生労働省 肝炎総合対策推進 国民運動 伍代夏子肝炎対策特別大使

肝炎対策特別大使を拝命して、5年目になります。少しずつ肝炎という病気に皆様に関心を持って頂いているように感じております。これからも早期発見の重要性を訴えて、啓発活動にいそみたいと思っておりますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



■厚生労働省 肝炎総合対策推進 国民運動 小室哲哉肝炎対策大使

今回のテーマソングについては、短い期間でこれだけの人が参加した曲を形に出来たことに本当に驚いています。曲の頭から最後まで聞いて頂くと「笑顔の明日」があるんだと感じて頂けるように曲を作成させて頂きました。“We Are The World”レベルの曲が出来上がったと感じております。音楽の力で「知って、肝炎プロジェクト」をさらに盛り上げられると信じております。



テーマソング「笑顔の明日」初お披露目

杉良太郎特別参与から、「知って肝炎プロジェクト」テーマソングが発表され、ミュージックビデオが初お披露目されました。小室哲哉氏が肝炎対策大使に就任されるのを機に、少しでも多くの人に肝炎を知ってもらいたいという思いから、杉良太郎特別参与と相談の上制作を行いました。

テーマソングを手掛けた小室哲哉氏は、「最初は普通のポップスを作ったのですが、杉さんからみんなが歌える曲、みんなが聞いてすぐに覚えられる曲が良いというアドバイスを頂き、曲を作りなおしました。数日前にも杉さんからアドバイスをもらい、最後の最後まで真摯に取り組んで頂きとても助かりました。」と制作秘話をお話されました。





「知って、肝炎プロジェクト」とは

このキャンペーンは、平成23年5月16日に策定された肝炎対策基本指針を受け、厚生労働省の肝炎対策助成金事業として開始されました。平成25年度より、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎への正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくこと目的とした「肝炎総合対策推進国民運動事業」として啓発活動を致しております。

肝炎とは何か、そしてどのように感染するのか、どのような人に危険性があるのか、そして様々な予防方法と治療法を知ってもらうことを目指します。肝炎は、健康に対し驚くべき損害をもたらすにも関わらず、いまだに認知度が低く、多くが診断されず治療も施されていないという疾患です。世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を"World Hepatitis Day"(世界肝炎デー)と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

日本でもこれに呼応した取組として、7月28日を日本肝炎デーと定め、国及び地方公共団体、医療団体や事業主団体等の協力を経て、肝炎の病態や知識、予防、治療に関わる正しい理解が進むよう普及啓発を行うとともに、受診勧奨を推進致します。

また、厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動 特別参与 杉良太郎氏をはじめとする、芸能界・スポーツ界から大使・スペシャルサポーターの方々に肝炎ウイルス検査の認知向上などを目的とした広報活動をお手伝い頂いています。



「知って、肝炎プロジェクト」大使・スペシャルサポーター一覧

厚生労働省
肝炎総合対策推進国民運動
特別参与 杉 良太郎



厚生労働省
肝炎対策特別大使
伍代 夏子



厚生労働省
肝炎対策 広報大使
徳光 和夫



厚生労働省
肝炎対策大使
小室 哲哉



「知って、肝炎プロジェクト」スペシャルサポーター ※順不同

EXILE



石田 純一



岩本 輝雄



w-inds.



AKB48



上原多香子



小橋 健太



コロッケ



島谷 ひとみ



清水 宏保



瀬川 瑛子



SOLIDEMO



高橋 みなみ



田辺 靖雄



豊田 陽平



夏川 りみ



仁志 敏久



平松 政次



堀内 孝雄



の場 浩司



山本 譲二



山川 豊

